

【予告】 第18回特別展

中学生のための「慰安婦」展 + 教科書

会期:2022年1月15日(土)~2022年12月初旬

*「天皇の戦争責任、忘却に抗する声」は2021年12月20日(月)まで会期延長します。

2021年4月27日、日本政府は「いわゆる従軍慰安婦ではなく、単に『慰安婦』という用語を用いることが適切」との見解を発表し、5月18日には、文科省が中学の社会科、高校の地歴公民の教科書を出版する会社に対し、「訂正申請」のための「説明会」を開催、「従軍」を削除せよと政治介入を試みました。

3回目となる「中学生のための『慰安婦』展」では、教科書に関する展示を“plus”します！

今回は、中学だけでなく、高校の教科書まで範囲を広げて「慰安婦」記述のこれまでの調査。教科書の検定・採択制度と教科書をめぐるこれまでの歴史を振り返りながら、日本の教科書問題を考えます。展示では詳細に伝えられない教科書をめぐる課題は、セミナーで学んでいきます。ぜひご参加ください！

オープニング・イベント / wam 教科書展セミナー ①

日本の教科書制度の問題点 検定・採択・供給・価格をどうすべきか

日時:2022年1月15日(土) 14:00~16:30

お話し:吉田典裕さん

日本の教科書制度に問題が多いとはわかっているが、全体像を理解するのは簡単なことではありません。検定制度の複雑さ、不透明なプロセスのみならず、採択においても学校教員が関与できる幅は狭まり、教育委員会の権限が大きくなっています。価格が安く抑えられていることによる教科書会社の経営悪化などの問題もあります。最近も「従軍慰安婦」や「強制連行」などの記述を国会議員が攻撃し、文部科学省が記述の「訂正」を事実上強要するという事態が起きました。

このような教科書制度のもとで、教科書を発行できる出版社が減少しています。日本の教科書は「実質的には準国定」と言われるほど、教科書の多様性が失われてきている現状をどのように変えていけばよいのか。オープニング・イベントでは、教科書制度の問題点を具体的かつ詳細に知る吉田典裕さんをお招きして解説していただきます。



よしだ・のりひろ:日本出版労働組合連合会(出版労連)教科書対策部事務局長。教科書会社で教科書や教材の編集を担当する一方、出版労連が発行する『教科書レポート』の編集に長く携わり、教科書づくりの現場を最も熟知している存在として知られる。「子どもと教科書全国ネット21」常任運営委員、国際人権活動日本委員会幹事。

日中韓3国歴史教科書のとりくみ

何が議論になり、どう乗り越えたのか

日時:2022年3月12日(土) 14:00~16:30
お話し:齋藤一晴さん

2001年の「新しい歴史教科書をつくる会」による歴史教科書の出現は、歴史修正主義が強まる日本においても、とりわけ大きな衝撃を与えました。この事件をきっかけに、2002年、日中韓の研究者、教師、市民によって、共有すべき歴史認識の構築をめざした3国共通の歴史教材をつくる取り組みが始まり、その成果として出版された『未来をひらく歴史 東アジア3国の近現代史』(高文研、2005年)は大きな反響を呼びました。

日中韓の歴史教材をつくる取り組みはその後も継続し、『新しい東アジアの近現代史 上・下』(日本評論社、2012年)も出版されました。セミナーでは、この3国共通教材をつくる取り組みに深くかかわった齋藤一晴さんをお招きして、どのような歴史上のできごとが議論の的になり、どのようにそれぞれの歴史の見方の違いを乗り越えたのかなど、共通教材をつくる取り組みの実際を伺います。



さいとう・かずはる:日本福祉大学教育・心理学部准教授。専門は東アジア近現代史、歴史教育。黒龍江大学に留学した経験から日中や日中韓の授業交流等を研究・実践している。著書に『中国歴史教科書と東アジア歴史対話—日中韓3国共通教材づくりの現場から』(花伝社、2008年)のほか論文多数。「子どもと教科書全国ネット21」運営委員。

参加のお申込み



参加費:各回 1000円

会場:wam オープンスペース(定員20名/予約制・先着順)

*オンライン参加は後日オンデマンド配信のみになります。
*新型コロナウイルスの感染状況によって、セミナー開催方法に変更の可能性があります。

申し込みは右記QRコードからGoogleフォームで、wam事務局にメールをくださればURLをお送りします。会場参加のみ電話での申し込みも可能です。

会員になりませんか?

●友の会年会費:3,000円 ●維持会員年会費:10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを逐次お知らせします。維持会員は入館料無料。各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号:00110-2-579814

口座名称:「女たちの戦争と平和人権基金」係

wam
アクティブ・ミュージアム

女たちの戦争と平和資料館
women's active museum on war and peace

開館時間:金・土・日・月 13:00~18:00

2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は「祝わない」ため閉館

休館日:火・水・木・祝日(天皇制由来の上記4日を除く)

※時間外の団体来館はご相談ください。
※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料:18歳以上 500円

18歳未満 300円

小学生以下 無料

※障害のある方の付き添いは無料です。

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051
T:03-3202-4633 F:03-3202-4634 E:wam@wam-peace.org
URL:https://wam-peace.org Twitter:@wam_peace

